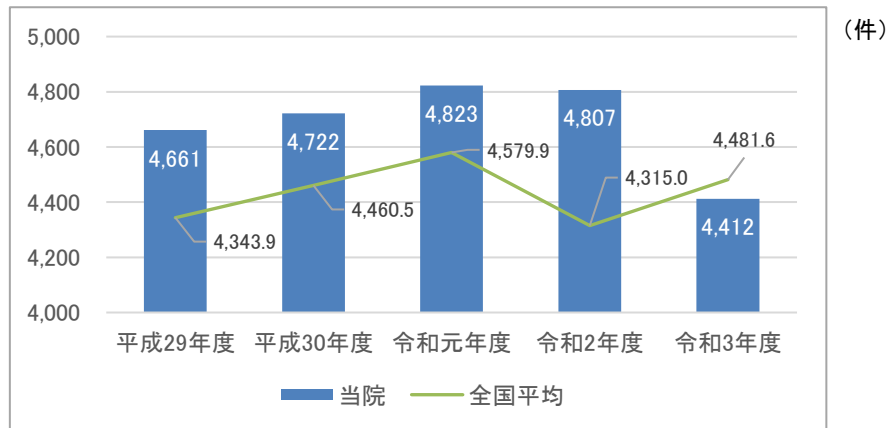


5 手術全身麻酔件数

○項目の解説

麻酔には、意識はあるが痛みを感じない状態にする局所麻酔と、呼吸管理のもと完全に意識のない状態で痛みを感じない状態にする全身麻酔があります。全身麻酔では、局所麻酔に比べて、麻酔医や手術看護師などの負担は大きくなります。このため、全身麻酔件数は、手術部門の業務量を反映する指標となります。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

旭川医科大学病院は、地域医療の中核病院として、プライマリーな症例を多数扱うと共に、高度先進医療の提供を促進する責務を有しています。このような多彩な症例を扱う中、過去5年間で手術室全身麻酔件数は4,000件台中盤から後半へと着実に増加の一途を辿っております。令和3年度は、コロナ禍の状況下にも関わらずほぼ横ばいの4,412件が施行されました。また、内視鏡下手術用ロボットを用いた各種手術や低侵襲心臓手術、覚醒下手術のような先進的な手術も全身麻酔下にて安全に施行されており、地域医療と高度先進医療を担う大学病院としての機能を十分に果たしていると評価しています。

○定義

DPC データを元に算出した、手術目的の全身麻酔の件数です。検査等における全身麻酔件数は除きます。

○算式

実数